

安 齋 政 保

[市 政 会]



- ①和紙伝承館について
- ②学童保育について

問

- ①和紙の原料生産について
 - ①楮(こうぞ)・ネリの栽培管理は。
 - ②今後和紙を伝承していくにあたって人材育成はどうされるのか。



和紙の原料となる楮の畑

- ②①今年度の申込み件数は何件か。
 - ②入所できない5・6年生の人数は。
 - ③入所できなかった児童に対しての市の考え方は。

答

- ①①地元農家の畑2,163㎡をお借りして地元の方と連携し、収穫時も含め草刈り等の作業をしている。ネリはふるさと村敷地内で栽培。
 - ②技術の保存、継承の為には大変重要な施設であり今後紙漉き職人を目指す若い人材を育成していく。
- ②①平成26年9月1日現在で467人、うち5・6年生は33人。
 - ②渋川小2人、川崎小1人計3人。
 - ③子育て環境の整備を最重点課題と位置付け、ニーズに応えられるよう施設整備を図っていく。

本 多 俊 昭

[真 誠 会]



- ①障がい者福祉施策について
- ②通学路における交通安全と防犯対策について

問

- ①①障がい者のための施設整備について、市内公共施設のバリアフリー化対策と、車いす用駐車場の設置状況は。
 - ②窓口で専任手話通訳者が常勤で対応することは可能か。
- ②①通学路の安全性は確保されているのか。また、国・県・市道の危険箇所における歩道整備は。
 - ②防犯教室は計画的に行われているのか。不審者情報の対応は。

答

- ①①430の施設のうち対応済・一部未対応は90施設、未対応は340施設。車いす用駐車場は、61施設109区画で区画表示をしている。
 - ②聴覚障がい者の今後の利用状況等の推移をみて検討していく。
- ②①通学路交通安全プログラムを周知し、安全確保に努める。歩道整備は、それぞれの管理者に対して引き続き設置要望していく。
 - ②警察署と連携して開催。不審者情報の対応については、関係機関と連携を図り保護者へ情報を提供。

菅 野 寿 雄

[市 政 会]



- ①豪雨災害からの被害復旧対策について
- ②大雪時の除雪対策について

問

- ①①市道太郎田・正切線のうち、正切～川前間の復旧時期は。
 - ②太郎田・川前区間復旧に関し、県の治山事業の進捗状況は。また市道土砂撤去の見通しは。
- ②①除雪路線の公表方法についての検討結果は。
 - ②対策路線以外の住民への支援措置は。

答

- ①①十文字から正切までの復旧工事が契約となった。完成見通しは今年度末の予定である。
 - ②県は関連する松倉工区について10月には工事発注を予定。市道土砂撤去は9月下旬から開始し、年度末に完了予定である。
- ②①各支所・住民センターに除雪路線図を配置するほか各行政区や関係団体に周知することとした。
 - ②小型除雪機を支所・住民センターに配備する。市民による除雪協力には必要な燃料を支給する。

佐藤 有

[真誠会]



- ① 原発事故による除染について
- ② 定住促進と人口減少対策について

問

- ① ①除染により発生した除去土壌等、汚染物質の漏洩、破損はないか。
 - ②可燃性汚染物質の減容化施設の設置は。
-
- ② ①人口減少にどのように取り組むのか。
 - ②定住促進のための災害復興宅地開発は。

答

- ① ①除去土壌は仮置場また現場保管で埋設、地上置もガイドラインに則り施行され、適正かつ安全に保管されている。
 - ②国・安達地方広域行政組合の共同事業として、設置候補地を本市に絞り、環境省に下調査を依頼中。
-
- ② ①特に若い夫婦世帯への支援策として保育所・幼稚園保育料助成や定住促進奨励金支給、新婚世帯家賃助成金支給などを実施している。
 - ②重要な課題であるが、民間による開発促進が経済の活性化になる。

平栗 征雄

[市政刷新会議]



- ① 災害公営住宅建設について
- ② 教育現場の環境改善の取り組みについて

問

- ① 油井字根柄山地内のその後の経過について
- ② 教育現場の環境改善については、夏期休暇前にはどう対処されたのか。



環境整備された花壇

答

- ① 根柄山地内の復興公営住宅については、70戸の戸建てまたは2戸1棟の木造住宅を建築することで現在、造成設計、地質調査及び建築設計が実施され、今年度中に造成工事の発注、次年度以降建築工事の予定である。
- ② 教育委員長と教育長が当該教育委員会を訪問し対応について話し合うとともに、市民やPTAの気持ちを伝えた。当該生徒は指定された期日をもって、当該教育委員会の学校に就学することになった。

小林 均

[公明党]



- ① 道路の防災対策について
- ② 教育行政について

問

- ① 緊急時避難路や高齢者・障がい者施設に面した道路等を優先に、市道の安全確保のため、国の防災安全交付金を利用し、最新技術を活用した道路下空洞化調査を実施すべきと考えるが。
-
- ② ①地域の豊かな社会資源を活用した土曜教育を充実する考えは。
 - ②佐賀県武雄市で導入されている反転授業（ICT教育）の取り組みについて市の見解を伺う。
 - ③中学校の生徒指導の現状と今後の課題について

答

- ① 現在、防災安全交付金により舗装路面の維持管理計画を優先して策定し、補修工事を進めている。道路陥没の事前防止は、非常に重要であり、先進自治体の事例等を参考に、今後検討していきたい。
-
- ② ①スポ少の活動などをふまえ、効果や課題、影響などを検討し対応。
 - ②反転授業には様々な課題もあり、従前の指導法で取組んでいる。今後情報端末の活用等で対応したい。
 - ③現在、当該生徒は当該教育委員会の学校に移り指導を受けている。